



デービッド・  
ブランド・バーグ

宙に浮いているような

素晴らしい  
気持ちでした。

近年、多数の著名な医者が、いわゆる「臨死体験」の事例を何百も観察し、記録した。この患者たちは死亡し、数分から30分間、すべての生体機能が完全に停止したのだが、その後生き返った。そうやって生き返った何百人の人の体験は、驚くほど似通っている。

ほぼ全員が、体の重みから解放され、宙に浮いているような素晴らしい感覚を覚えたと語る。体は死んだものの、自分の魂はまだ生きているのがわかり、深い愛を感じて不安や心配はさっと消え去った。そういう体験をした人の大半は、人生観

が大いに変わったと言う。もっと愛情深くなり、信仰を持つようになり、人生の目的意識が深まった。自分が生き返ったのは、地上での使命を果たすためだと確信しているそうだ。（200を越す臨死体験の事例については、レイモンド・A・ムーディ博士による「かいま見た死後の世界」を読んで下さい。）

神の言葉によると、死後の世界は、私達が全く理解できないほど、現在の世界とかけ離れたものではない。天国での永遠の身体は、死後復活したイエスの身体のように超自然的なものとなるが、それ

# 死後の 人生

## —死んだらどうなるか?

以外は、今の身体とそれほど変わらない。(ピリピ 3:21、1ヨハネ 3:2) 復活後のイエスは、食べたり飲んだりもできて、他の人の目に見える存在だったし、他の人がイエスに触れることもできた。消えたり現れたりし、鍵のかかった戸や厚い壁を通り抜けることもできた。(ヨハネ 20:19、26)

しかし、霊的な身体を持つようになって、自分自身でなくなるわけではない。あなたはあなたのままであろう。見た目も、多くの

面で今と変わらない。ただ、今より良くなるが。そして、あらゆる面で今よりずっと良くなり、神と もっと直接コミュニケーションするようになり、神の愛と天国のすべてをフルに体験するようになる。

死後の世界を経験するというのは、もちろん例外のケースであって、ほとんどの人はそのまま帰らぬ人になる。だが、あなたの時が来ても、死は恐れるものではない。

神は皆を地獄へ送り込もうとする残酷な暴君だと考えている人もいるが、そうではなく、神は、皆を天国へ導こうとする、愛と慈悲に満ちた方だ。「神は愛」(1ヨハネ 4:8)であり、神はあなたを助きたい、救いたい、そして神の愛であなたを幸せにしたいと願っている。神はそのためにあなたを創造された。あなたが永遠に渡って神を愛し、楽しむために。

しかし、悲しいことに、私たちは皆、時に利己的で、他の人に対して愛や親切に欠けることがある。神に対してさえそうだ。「すべての人は罪を犯したため、神の栄光を受けられなくなって」いる。(ローマ 3:23) だから、天国へ行くのにふさわしい人は誰もいない。だが聖書には、「罪の支払う報酬は死である。しかし神の賜物は、わたしたちの主キリスト・イエスにおける永遠のいのちである」とある。(ローマ 6:23)

神からの贈り物である永遠の命を受け取ることは、罪に対する恩赦を受け取るようなものだ。神はあなたをとて愛しているので、イエスがあなたに代わって罰を受けて、身代わりとして死ぬようにされた。(ヨハネ 3:16) だから

イエスは、自分を信じる者は「死を味わわない」と約束された。(マタイ 16:28) もしイエスとその贈り物である永遠の命を受け入れるなら、たとえ肉の体は死んでも、本来の私たち自身である霊は決して死なないし、神からの離別という苦しみも経験することはない。「わたしの言葉を聞いて、わたしをつかわされたかたを信じる者は、永遠の命を受け、またさばかれること(罪の宣告)がなく、死から命に移っているのである。」(ヨハネ 5:24)

まだ心の中にイエスを受けれていないなら、今、この祈りを祈ってほしい。

イエス様、あなたが神の御子であり、私のために死んで下さったことを信じます。どうぞ、私のすべての罪や過ちをゆるして下さい。私の心の中に入って、あなたからの贈り物である永遠の命を与えて下さい。そして、あなたを愛し、他の人たちも愛することができるようになります。アーメン

いったん心にイエスを受け入れたら、あなたは、人生に対しても死に対しても、最も大切な準備をしたことになる。死ぬ時が来たなら、その時は、あなたの地上での任務が終わったということだ。その日はあなたの卒業の日になる。永遠の命という栄光ある冠を受けて天国へと卒業し、神とイエスと愛する人たちと共に永遠に天国に住まう。イエスを知る人たちは、永遠の平和と豊かさ(みくに)他の人への愛の内に、神の天の御国で目覚めるのだ。